

# 福島 の今、 未来 【浜松】

# アート で伝える 考える

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から5年を迎え、その記憶も薄れつつあります。しかし、巨大地震と原子力発電所事故が福島に限らない課題であることはこの国の多くの人が共有し続けなければなりません。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化・芸術の視点から2011年以降福島が抱えている課題に向き合ってきました。地域に新たなアートを定着させ、アーティストとともに被災地の記憶をとどめ、未来そのものである子供たちにアートワークショップを通じて触れあってきました。本展は、浜松市で地域に根差したアートプロジェクトを実施している鴨江アートセンターとの共催により開催。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトで生まれた作品を通して、2011年以降の福島を伝え、ともに考える場をつくります。ぜひご来場ください。

会期 / **2016年2月18日(木) ⇒ 2月28日(日)**

\*2月22日(月)は休室

会場 / **鴨江アートセンター** (静岡県浜松市中区鴨江町1番地) **観覧時間 / 10:00~18:00**

主催: はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会 後援: 中日新聞東海本社 / 静岡新聞・静岡放送  
共催: 鴨江アートセンター 協力: NPO法人クリエイティブサポートセンターレッツ

入場無料

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトトークセッション × 鴨江アートセンター OUT OF SCHOOL3

## 福島でレジデンス制作をすること

出演 **片桐功敦** 華道家 / はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト参加作家  
**本郷毅史** 写真家 / はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト参加作家  
モデレーター **小林めぐみ** 福島県立博物館学芸員 / はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトに参加し、福島でレジデンス制作をした片桐さん、本郷さんに、地域に滞在して制作することの意味やアートと社会の関係についてお聞きします。

参加費無料

日時 / 2月28日(日)

15:00~17:00

会場 / 鴨江アートセンター

■要申込

申込先 鴨江アートセンター (裏面をご覧ください)

\*参加ご希望の方は、イベント名、氏名、電話番号と共にEメールまたは電話でお申し込み下さい。

# Fukushima × Hamamatsu

岡部昌生フロッタージュプロジェクト 漂着したテトラポットに付着したフジツボの死骸 (南相馬市小高区井田川 2013年3月22日)

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトとは…福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2015年度は、8つのプロジェクトを実施。詳しくはこちら → [hamanakaaiizu.jp](http://hamanakaaiizu.jp)



はま ▲ なか ▲ あいづ  
文化連携プロジェクト

福島<sup>の</sup>記憶と記録 フロッターージュ作品



フロッターージュは物に紙を当て鉛筆などで凹凸をこすりだす技法。美術表現を通して震災と原発事故の記憶をとどめた岡部昌生氏のフロッターージュ作品。

制作:岡部昌生(美術家) 制作年:2012~2015年

写真/岡部昌生フロッターージュプロジェクト 木の記憶 切り倒された綿津見神社の大杉

distance 写真作品



福島県内各地で津波被害、原発事故被害の影響を自然の姿を通して問いかける写真作品を制作。

制作:赤阪友昭(写真家)

制作年:2014年

写真/distance  
群生する絶滅危惧種ミズアオイ 鹿島区 0.19μsv/h

sacrifice 写真作品



南相馬市に滞在しながら津波被害、原発事故被害の影響を植物の姿を通して問いかける写真作品を制作。南相馬市博物館の協力により、土地の歴史を物語る資料を花器とし南相馬の文化の豊かさも伝える。

制作:片桐功敦(華道家)

制作年:2013~2014年

写真/sacrifice

花:向日葵 鹿島区で採取  
器:縄文式土器小高区浦尻貝塚出土

水源域・福島 写真作品



福島を代表する河川の水源をたどり写真作品を制作。福島の美しい自然の象徴である水源域の光景が、福島の今を想起させる。

制作:本郷毅史(写真家)

制作年:2014~2015年

写真/水源域・福島 阿武隈川源流部

Island in my mind 写真作品

写真/Island in my mind/Chieko Sasaki, Sasu-Tougeshita, litate, Jun. 2015



飯館村の人々の暮らしの象徴でもある自宅で、その人と住環境すべてを被写体とする写真作品を制作。飯館村の人々が大事にしてきたこと、失わされてしまったものを問いかける。制作:岩根愛(写真家) 制作年:2015年

福島祝いの膳プロジェクト ミクストメディア



福島の食文化リサーチに基づき、福島の自然や食の豊かさ、抱える課題に向き合ったアートプロジェクトの成果作品。

企画・制作:中山晴奈(フードデザイナー)

制作年:2014年

絵/福島祝いの膳プロジェクト

飯館中学校のふるさと学習 写真・映像作品



写真家の赤間政昭が、全村避難中の飯館中学校生徒が取り組む田植え踊り学習を撮影。飯館村の文化・歴史の豊かさ、生徒たちの成長の姿、村人の思いなどを伝える作品。

撮影:赤間政昭(写真家) 制作年:2015年

写真/飯館中学校ふるさと学習 飯館村飯樋町の田植え踊り

豊間ことばの学校 好間土曜学校 造形作品



津波被害、避難者受け入れによる課題を抱えるいわき市内の小学校で実施した美術家を講師とした造形ワークショップの参加児童による成果作品。

企画・講師:乾久子(美術家)、千葉清藍(書家)等

制作年:2014~2015年

写真左/豊間ことばの学校 くじびきドローイングワークショップ

制作:いわき市立豊間小学校の児童たち

講師:乾久子(美術家)

写真右/好間土曜学校 いわきの水と墨で福島の紙にもようをつけよう!ワークショップ

制作:いわき市立好間第一小学校の児童たち

講師:千葉清藍(書家)



\*浜松駅から徒歩15分。  
\*駐車スペースはございませんので、有料の駐車場をご利用ください。

■会場のお問合せ・トークイベントのお申し込み

鴨江アートセンター

〒432-8024 静岡県浜松市中区鴨江町1番地 TEL:053-458-5360

E-mail:k.a.c@kamoeartcenter.org

■事業のお問合せ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局

〒965-0807 会津若松市城東町1-25 (福島県立博物館内)

TEL:0242-28-6067 (事務局直通)もしくはTEL:0242-28-6000 (福島県立博物館代表)

FAX:0242-28-5986 (福島県立博物館内) \*毎週月曜日、祝日の翌日は休業